

# うた ひつじの詩だより

2012.2.1  
毎月発行 No.131  
この頁はご注文の品と  
いっしょにお届けします

大寒冬。寒さが緩む気配は全くありません。けれども、日はずいぶん長くなり、夕方までお茶をしてもまだ外が明るくてほっとします。もう少し暖かくなったらあれをしよう、これもしよう、春の訪れを待ち遠しく思う毎日です。

## 2月のテーブル「ねっこぼっこ」

オルファースの絵本の世界を私なりのイメージで作ってみました。大地のかあさんは少し若い感じで・・・  
ねっこぼっこ達は春の準備で色々な洋服を縫っています。  
2月は寒い中にも光がしだいに強くなるのが感じられて、心の中にもカラフルな色合いが生まれて来る気がします。  
この子たちが3月にどうなるか、お楽しみです。

池上洋子

## ニュージーランドの羊

12月から1月にかけて、ニュージーランドへ行ってきました。「広大な緑の草原にたくさん白い羊が草を食べている」風景を思い描いていた私は、初め、ちょっと肩すかしをくらった気分になりました。というのは、草原には牛ばかりが放牧されていたからです。

1982年に7000万頭いた羊は、2009年には3238万頭にまで減ってしまったそうです。原因として考えられるのは、化学繊維の人気による羊毛消費量の減少、それに伴う羊毛価格の低迷、また手仕事をする人の減少などでしょうか。羊毛の手仕事が大好きな私達にとっては寂しい現状ですね。代わりに、乳製品の輸出が好調なので酪農業に転じる人が多いようです。

とはいえ、まだまだ人口の約8倍の羊がいる国。ちょっと車を走らせれば、いました！いました！羊がたくさん！やわらかな緑色のなだらかな丘陵に、白い羊があちこちに。

そして、運がいいことに、ちょうど羊飼いの男性が牧羊犬を使って羊の群れを動かす練習をしているところに出くわしました。羊たちをまとめて柵から出したり入れたり、群ごとあちこちに移動させたり。羊はとても臆病な動物なので、犬に吠えられたり追いかけられたりすると群になってみんなと同じ方向へ動くのだそうです。練習が終わって、羊飼いの方と犬が帰って行ったあと、羊たちは用心深くしばらく群を崩さずじっとしていましたが、じわじわと広がりはじめ、かなりの時間が経ってからやっと本当にばらばらに散っていきました。ちょっと気弱でおとなしい羊たちのことが、とても愛おしく思える光景でした。

ニュージーランドは自然豊かでのんびりとした国で、分刻みで動いている日本人にとっては心からリフレッシュできる場所だと感じました。体感した「ゆったり感」を日常にも取り入れ、ゆとりある気持ちで手仕事にいそしみたいと思う今日この頃です。

ペレのこひつじ担当 安山良子（横浜市在住）

## 「ペレの学校」展

「ペレの学校」展、いよいよ大詰めを迎えています。すでに教務室では、春から始まる通信講座「ペレの学校・2012」の準備が着々と進められている様子で、その熱気が伝わってきます。

2月3日(金)～6日(月) つみきや 福岡市南区西長住 2-29-20

TEL: 092-512-6095 担当: 原田保子

2月10日(金)～12日(日) タンテ・ボレ 名古屋市天白区八事石坂 619

TEL: 052-835-0190 担当: 福井光子

## ばたぼん通信

## ニッティング・ニッティング

もう30年近く前のロンドンでの思い出です。ロンドン名物のバスの2階に、初老のご婦人が二人颯爽と乗り込んできて、見晴らしの良い一番前の席に座りました。そして、それぞれバッグからさっと編みかけのニットを取り出して、せっせと針を動かして始めました。手元にはほとんど視線を落とすことなく、目は窓外の景色に向けたまま、しかもお互いのおしゃべりも途切れさすことなく、目にもとまらぬスピードで、針を動かし続けます。かっこいい～～！と感激した、その時の情景を今もありありと思い浮かべることができます。ウォルドルフ人形を通して羊毛に出会う前から、思えば毛糸と、毛糸のある風景が大好きでした。

年末に、アンマリー・ニルソンさんの「スウェーデンから届いたニット ぼうし・手ぶくろ・くつ下」と「スウェーデンから届いたニット2 マフラー・ネックウォーマー・三角ショール」を手に入れたことで、がぜん、私の編み物生活に勢いがつきました。

家族にこの本を見せて、リクエストはないか尋ねたところ、手袋が無くてつらいという声と、足が冷たいという声が上がりましたので、早速冬休みにスノーボードに出かける息子のために、5本指の手袋を編むことにしました。

毛糸は、スウェーデンのオステルヨートランド羊毛紡績のものを用いました。この糸は、一見4～5号くらいの棒針で編むのがふさわしい太さに見えますが、指先でギュッとつまむと、意外に細く、太く見えるのはふんわりと空気を含んでいるからだに気づきます。これを、本の指定通り1号の棒針で編みまし

た。編地は密に詰まって風を通さず、手首部分が長いデザインがとても暖かそうです。

次に、もう一人のリクエストに答えて、足首ウォーマーを編みました。本人が選んだ星の模様の編み込みをして、足首とかかとの穴を編み足しました。足首部分が折り返して二重になっているので、こちら「半端でなく」暖かく、手放せないとのことでした。

次に編んだのが、白樺編みのリストウォーマー。オステルヨートランドの段染めの糸は、この編み方にぴったりで、深い色味が本当に素敵です。このデザインを、自分で染めて紡いだ糸で編んでみるというのが、今年是非やってみようことの一つです。

そして、もう一つ、ネット上で目にした洋書の写真に心動かされて、春のリストウォーマーを編みました。中細の糸で小花の模様を編み込みましたが、本を取り寄せてみると、実はピースが編み込まれていたことがわかりました。楽器を弾く女性の手首にはめられてほしいイメージです。“Jane Austen Knits 2011”を参考にしました。春を待つ気持ちを込めて編み上げたとき、少し心が満たされた気がしました。

佐藤治子（八王子市在住）



「スペース ペレのあたらしいふく」2月の開店日  
1日(水)～15日(水) (日・祝を除く) 10:00～16:30

ホームページ <http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当: 佐藤治子

♥スウェーデンひつじの詩舎♥  
スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2  
TEL&FAX 045-881-6900,6665  
佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708  
相談窓口(金) 寺田裕子 045-881-7035